

(6) 連雀住区

1) 基本的な考え方

連雀住区は、「中央都市軸」と「東西都市軸」の交差する結節点にあり、市民センターや教育センターなど公共施設が集中している地域です。住区内を通過する幹線道路の拡幅整備の推進やコミュニティ道路の整備を行います。

また、災害に強いまちづくりを進めるための道

づくり、まちづくりに積極的に取り組むとともに、都営住宅や工場が集中している地域の開発や整備にあたっては、全体が公園的な都市空間となるよう誘導・調整を行っていくなど、良好な住環境の保全と創出を図っていきます。

2) 主な事業の方向

- ①第七小学校、連雀学園南浦小学校及び連雀学園第一中学校の耐震補強工事を実施します。
- ②老朽化が進んだ中央保育園と母子生活支援施設については、施設の建替えを行います。
- ③ふじみ衛生組合が整備する新ごみ処理施設等の整備計画とも連携を図りながら、スポーツや健康づくり拠点の整備など、市民センター周辺の整備構想の検討を進めます。
- ④バリアフリーの重点整備路線である都道（連雀通り、吉祥寺通り、人見街道）など歩道が狭く歩行に支障をきたす箇所について、安全で快適に歩ける歩道の整備が早期に行われるよう都に要請します。
- ⑤狭あい道路の拡幅や東西道路の整備を進めるとともに、市民センターと三鷹駅を結ぶコミュニティ道路の早期完成をめざします。
- ⑥3・2・6号線（調布保谷線）については、「環境に配慮した質の高い道路づくり」を基本に、緑豊かでシンボリックな道路としての整備や防災・環境対策等を含めた総合的なまちづくりの

視点から整備が図られるよう東京都と協議し、整備を進めます。また、調布保谷線へのLRT（新路面電車）の導入、東八道路への地下鉄の導入について、近隣市と協議しながら協力して都に要請します。

- ⑦芸術文化センター周辺については、周辺環境と調和した芸術文化の拠点として、南側の連雀中央公園の拡張を含めて一体的な整備を行います。
- ⑧連雀通りについては、東京都のみちづくりまちづくりパートナー事業の活用を検討するほか、都市計画道路の整備にあわせて、まちづくり推進地区や地区計画制度等の活用による一体的なまちづくりを推進します。
- ⑨東八道路沿道については、地区計画制度の導入等を検討しながら、産業の振興と周辺環境との調和を図っていきます。
- ⑩農業公園については、市民が農業と緑について親しみ交流するとともに、農業振興や緑化推進を図る拠点として活用します。



